

【水コン協新技術奨励賞 受賞技術一覧と活用状況】

2019.7.31

番号	受賞年度	氏名	所属	新技術テーマ	特許等	研究開発形態	活用状況
1		稲垣 裕亮	(株)NJS	無人航空機による下水道管きよの点検調査技術	・特願2017-076237(特開2018-176887) ・第2回インフラメンテナンス大賞 特別賞	共同開発 ;(株)NJS、(株)自律制御システム研究所	・関西電力水力発電用余水管、本管において点検実績あり。
2	平成30年度	塚原 純哉 他	(株)日水コン	画像センサーを用いた焼却炉閉塞抑制技術の開発	・特許第5881260号(H28.2.12)、特許第5974335号(H28.7.29)、特許第6321866号(H30.4.13)	共同開発 ;東京都下水道局、東京都下水道サービス(株)、(株)日水コン	・東京都下水道局管内での焼却炉閉塞対策として水平展開中。
3	平成29年度	福本 徹	(株)日水コン	XRAINを活用した雨水管理支援サービス	・特になし	単独開発	・現時点で7都市にサービス提供している。
4	平成27年度	塚原 純哉	(株)日水コン	下水汚泥焼却炉の閉塞原因の説明指標及びその防止方法について	・特許第5881260号(H28.2.12)、特許第5974335号(H28.7.29)	共同開発 ;(株)日水コン、東京都下水道局の2者	・東京都下水道局管内にて、同技術を用いた閉塞防止対策が行われている。
5		村山 仁 他	(株)三水コンサルタント	微生物生育システムの制御による高効率水質浄化技術の研究開発	・戦略的基盤技術高度化支援事業(経産省)採択プロジェクト	共同研究開発 ;(株)三水コンサルタント、東京工科大学の2者	・現況において、本処理システムの活用が図られた事業者(食料品工場等)は該当なし。
6	平成25年度	永田 壽也 他	(株)日水コン	電気伝導度を用いた不明水調査方法の開発	・特許取得済(H24.4.27)	単独開発	・不明水調査業務に活用している。
7	平成24年度	小西 康彦	(株)日水コン	液状化現象によるマンホール浮上の制御技術「安心マンホール工法(VD工法)」	・土木学会技術評価取得(2011年6月) ・特許取得済(H19.2.1)	単独開発 ;技術評価委員会委託者側に管清工業(株)と前澤化成工業(株)が参加	・マンホール浮上防止対策の一つとして自治体に認知され、H31年度末でマンホール個数で500基以上、ろ過器個数で1100個以上の採用実績がある。
8		小野 晃	バシフィックコンサルタンツ(株)	マンホールトイレの水洗化(3.11東日本大震災で実証)	・特になし	単独開発 ;設計委託業務成果	・東松島市に導入し、震災時に活用。 ・奈良県内で1件導入。
9	平成20年度	白石 健次	オリジナル設計(株)	3次元構造物自動設計システム	・特になし	単独開発	・現在、本技術の営業は行っていない。
10		増屋 征訓	日本上下水道設計(株)(現(株)NJS)	上下水道施設情報の一元化・共有化を目指したAPSシステムの開発	・特になし	単独開発	・60の事業体で導入・運用中。

<分析・評価>

- 過去10年間における新技術奨励賞受賞技術10件の内、4件が共同開発案件であった。
- 共同開発件数4件の内、3件が教育・研究機関又は自治体を共同研究者としたものであった。
- その他:共同開発件数全4件の内、3件が特許出願を行っており、また、1件が戦略的基盤技術高度化支援事業(経産省)採択プロジェクトであった。